

メール:g03063@shugin.go.jp

自立と共生!

たぐましい日本!

No. 179-1号

民主党 中川正春の **永田町かわら版**

2002年12月17日

〒100-8981 千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館 428号

TEL 03-3508-7128

FAX 03-3508-3428

○菅、岡田体制ができる**党の再生に、私も賭けます**

思った以上に差がついて、菅さんが民主党の代表となりました。もともと岡田さんが勝つだろうと予想されていた事ただけに、25票の差については、両陣営にとって以外なことでした。熊谷弘さんを中心としたグループの離党、新党立ち上げなどへ向けての動きもあります。新進党以来、同じことの繰り返しをして何をか云わんです。自民党に擦り寄って、合流するのは、逆に、改革の志が殺されてしまいます。政権は、選挙でとることをしなければ、政権交代は、本物になりません。今が辛抱の時。この危機感をベースに、党の再生に向けて一丸となっていくこと。これが大事だと、皆、腹が固まったと思います。岡田さんが幹事長をあえて引き受けて、火中の栗を拾う決断をしたのも、正しいと思っています。選挙中に打ち出した、厳しい党改革に期待をします。

私も今回の体制には責任をとるつもりで、中枢の役職を引き受けました。政調会長代理と行政改革担当のNC大臣です。1月20日からの国会は、解散総選挙モードです。危機に直面する日本の現状を政策で戦う民主党で、なんとでも再生する。このことを肝に銘じて頑張ります。

○山村健議員の離党騒ぎ**三重県5区が空白区に**

代表選の過程で、晴天のヘキレキが起きました。三重県5区〔伊勢志摩、紀州〕の山村健議員が、突然、離党をすると、宣言しました。鳩山さんの辞任が発表された議員総会の場で、党内に、組織的な鳩山降ろしの汚い動きがあったと批判している間に、興奮がこうじて離党すると啖呵を切ってしまった。それがテレビで全国放映されたものですから、引込みがつかない

○知事候補、広く議論

三重県知事の後任探しは、思うようには、はかどっていません。この週末には、地元に戻って、関係者が集ることになっています。市民運動や財界で実績のある民間人、学者、議員や首長など政治家、三重県出身または在勤したことのある中央官僚など、様々な分野から人材を探して、なるべく幅の広い選挙母体を作りながら選挙を戦う事だと思っています。自民党からも、何人かの候補者の名前が取りざたされているようです。私達も12月中には、候補者の絞込みをしたいと思います。

○税金の季節**子育て世代を元気に**

自民党税調や政府で、来年度に向けた税制の改正議論が詰まってきました。中でも、配偶者特別控除の廃止や、タバコ、発泡酒、ワインなどへの増税が一般家庭に響きます。飲酒運転の取締強化で、30万円の罰金が、夜の町を寂しくしたのと合わせると、「これは、江戸時代の犬公方がやった俵約令と同じや。サラリーマンを元気にして需要を喚起しなければならぬときに、政府のやっている事はまるで逆さま。どうしてこの時期心が縮む政策を集中させるのか。」という庶民の叫びが聞こえます。一つ一つは正しくても、同じ方向で政策が重なると、結果はまるで反対の方向になる。今回の改正議論はその見本です。

私達は、第一義に、子供を持った若い世代が元気になることを主眼に、税制改革の議論をしています。ローン利子減税が目玉です。10年も前から当時の高い利子を払いつづけている住宅ローンなどの利子ぶんを所得から控除して、荷を軽くする。第二に、配偶者特別控除や扶養控除などの人的控除は、廃止するとしても、逆に、子供一人あたり1万から2万円の額を18歳まで、扶養交付金として支

なくなったということです。民主党の三重県連の会長として、中川さん、あなたも監督不行き届きだと、叱られています。

残念な事ですが、彼の離党の決心は固く、同志を失う事になりそうです。三重県5区が再び私達にとって空白区になってしまいます。頭の痛い事です。

給をする。タバコは、健康保険への負担を減らす意味や、ヨーロッパなどでの値段と比べて、増税することは止むを得ないが、庶民の発泡酒まで負担させるのは間違っている。私達の生活に密着した税制については、元気印が目印だと言う主張をしていきます。

中川正春